寸劇　　浄水器の点検商法編

　　　　　　　登場人物

山田さん（後期高齢者　一人暮らし　年金生活）

東京水道センター　　　(親切な感じの女性)

東京水道センター　　　(の訪問員、ぞんざいな口調で)

隣の家の仲良しの鈴木さん（女性）

ナレーター

ナレーター

山田さん

木常（きつね）

山田さん

山田さんは７６歳。３年前に長年連れ添った相手を病気で亡くし、一人で年金暮らししています。最近、足腰が痛むようになり、隣の県に住んでいる息子夫婦から一緒に住もうと誘われていますが、自分の身の回りの事はできるし、息子夫婦に迷惑をかけたくないので、ずっと断ってきました。

そんなある日、自宅の電話が鳴りました。

　　　（リーン　リーン）

もしもし、山田ですが。

あ、山田様のお宅でいらっしゃいますか？　私は、東京水道センターの「きつね」と申します。

ああ、水道局さん？

木常（きつね）

山田さん

木常（きつね）

山田さん

木常（きつね）

ナレーター

山田さん

実は、テレビや新聞などでも報道されていますが、東京都内の上水道は設置してから５０年以上経っていて、老朽化が進んでいます。その影響で、水道管の中が錆びていたりもろくなったりしている部分が増えているんです。

えっ、そうなんですか？！

はい、そうなんです。そこで今、地区ごとに皆様のお宅に伺って、水道のお水の水質検査をおこなっています。

山田様がお住まいの地区は、ちょうど明日とあさってが調査日になっておりまして、山田様は、明日とあさってのどちらがご都合よろしいでしょうか？

うーん、あさっては病院だから、明日の午前中なら居ます。

さようでございますか。では、明日の１０時過ぎに、担当の者がお伺いいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

山田さんは、東京水道センターと言われ、水道局関係のところと考えました。また、老朽化の話は新聞で読んだことがあったので、すっかり信用してしまいました。

ナレーター

田貫（たぬき）

山田さん

ナレーター

田貫（たぬき）

ナレーター

翌日、担当者が家にやってきました。

こんにちはー。山田さんだよね。東京水道センターの田貫という者だけど。昨日、うちの者の話しきいてくれたよね、水質検査に来たの。早速調べるから、ええーっと、台所はどこ？

あ、はい、こちらです。

山田さんは、昨日約束した時間通りに「東京水道センター」の名札を付けた人が来たので、信用して田貫を家に入れて、台所に案内しました。田貫は、台所や洗面台などで、しばらく何やら調べていましたが・・・・・。

山田さん！ このビーカーをよーく見といてよ。この水は、今、お宅の台所の蛇口から汲んだやつ。いい？この試験薬を入れて水が青く変わると、錆びや金属などの有害物質が含まれているというわけ。じゃあ、入れてみるよ。

そう言って、田貫は、ビーカーを見つめる山田さんの前で、　試験薬を入れた水をかき回しました。

田貫（たぬき）

山田さん

田貫（たぬき）

山田さん

田貫（たぬき）

サギ山

わーっ、こりぁダメだー。山田さん！こんなに青くなっちゃったよ。

えっ、これがうちの水道の水なんですか？！こんなに青くなっちゃって。

これだけ色が濃いと、かなりの量の有害物質だねぇ。この辺の地区の水道管は、もう５０年以上経っているからね。老朽化が進んでるんだよ。このまま飲み続けていたら、知らないうちに血管や消化器系など体の中に貯まって、病気になっちゃうよー。

どうしよう…。水道管は新しくなるんですか？

いずれはやるけど、まだ調査の段階だからねぇ。

そこで、お宅みたいに問題が見つかったところには、浄水器を取り付けるよう勧めてるってわけ。しっかりフォローしないとね。これがそう。

（パンフレットを出して、山田さんに見せる）

　古い錆びやトリハロメタン、鉛や細菌まで有害物質を９９％除去して、しかも高濃度酸素水に変えてくれるスグレモノ！

ちょうど今日持ってきてるから、すぐ取り付けてあげるよ。

ナレーター

山田さん

田貫（たぬき）

山田さん

田貫（たぬき）

山田さん

田貫（たぬき）

山田さん

田貫は、そう言って、山田さんの目の前に契約書を置きました。

えっ、ちょっと待ってください。まだ買うって言ってないです。

何言ってんの、山田さん！　人間の身体の６０％は水でできているということ知っているだろ。毎日飲む水が悪ければ、誰でも体調を崩すのは当たり前だよ。この間も隣町で取り付けた人から、この浄水器にしたらひざの痛みが治ったってすごく喜こんでくれたんだよ。

でも・・・。　　これ、いくらなんですか？

定価は２５万円。でも、今日だけ２１万円でいいよ。

２１万円！　そんな払えません。年金暮らしだし。

この水を飲み続ければ、有害物質がどんどん体の中に入っていくけど、これを取り付ければ、今から健康になれるんだよ。

まあ、確かに水が大事なのはわかるけれど・・・。今、家にはそんなにお金ないし…。

田貫（たぬき）

山田さん

ナレーター

ナレーター

鈴木さん

山田さん

山田さん、あんたを見ていると、離れて暮らしているうちの親みたいだよ。何だか膝が痛そうだし。　じゃあ、山田さんに元気で長生きしてほしいからさ、内金を払ってもらって、残りは今日中に振り込んでくれれば、取付工事費込みで１３万８千円でいいよ！　特別だよ、俺もいいことしたいしね！

じゃあ、お願いします。

初めは乗り気じゃなかった山田さん。　でも、田貫がで怖かったのと、言われれば確かに水は健康に大事だし、足腰が痛いのも水のせいかもしれないと考えるようになり、契約書にサインして、手持ちの７万円を払いました。　　田貫は、すぐに浄水器を取り付けて帰っていきました。

その日の午後２時過ぎ、山田さんは、今日中に銀行から残金を振り込もうと小走りで家を出たら、隣に住んでいる仲良しの鈴木さんに会いました。

あら、山田さん、こんにちは。今日はいい天気ですねー。何だか急いでいるみたいだけど、これから病院？

あ、いや、ちょっと銀行まで…。

鈴木さん

山田さん

鈴木さん

山田さん

鈴木さん

山田さん

鈴木さん

あら、今から？　３時までだから大変ね。バス間にあうかしら…。今日中じゃないとだめなの？

そう、今日中に払うって約束したんです。

えっ、誰に？

水道局に。ほら、お宅にも電話来なかった？　水道管が老朽化しているので、今日・明日はこの地区が調査日だっていうから調べてもらったら、有害物質がたくさん出ていて。それですぐ浄水器を１４万円で取り付けてもらったんだけど。

そんなの、うちには全然連絡なかったですよ。それに、水道局が浄水器を売るなんておかしいんじゃない？　それ、もしかして、この間新聞に載っていた点検商法なんじゃないの？？

ええっ！　そうかぁ、なんだかおかしいとは思ってたけど。。。

じゃあ、今から消費生活センターに相談しに行きましょうよ！　私も一緒に行くから！　　　　　　　　（おわり）